

ことばのそだち

～比較の概念～



「ゾウさん、おっきいね～！」など、生活の中で身についていくことばや概念。しかし、「高い」や「長い」の反対を全て「ちっちゃい！」と答えるケースもみられます。

身近な物の形容詞を、いわゆる『反対語』として対^{ついで}で教えてあげてみてはいかがでしょうか。センターでは、クイズ形式で、イラストつきカードを使うこともあります。

カードがなくても、遊びの中で「暑い⇄寒い」「重い⇄軽い」など、イメージがわきやすいように身振りや表情豊かに示していきながら、ことばの育ちを促しています。



—ネット社会と子どもたち—

文 八重柏 一輝

ネットやゲームは子どもたちの遊び方、時間の使い方のスタンダードになりました。そんな今だからこそ、大切にしておきたい“上手に、楽しく付き合う方法”を、考えていきましょう。

①視力の低下に気をつけよう！

近年の子どもたちの目の問題は深刻です。視力だけではなく、視覚認知（見え方）にも影響が大きいです。

②待つ力、積み重ねる力をやしなおう！

ゲームのやりすぎは“今、すぐ！！”を強めてしまいます。生活の中で、待つこと、コツコツ目標に向けて進んでいく体験を増やしましょう。

③時間とお金の問題は要注意！

はじめにルールを作り、子どもも大人も守りましょう。ルールの緩みが、金銭トラブルにもつながってしまいます。

④視野を広げよう！

遊びや時間の使い方が偏らないように、いろんな体験をさせましょう（大人も一緒に）。実体験で得られるものは、ネットやAIは教えてくれません。

⑤子どもの世界に興味をもとう！

子どもの好きなゲームなどに関心を持ち、時には一緒にゲームをしてみましょう。子どもの遊びに関心をもつことは、コミュニケーションにもつながりますし、金銭トラブルなどの防止にもつながります。ぜひ、見えるかかわりを心がけましょう。